

資料 1

平成 29 年 2 月 13 日
図書館運営委員会資料

第 7 期 第 6 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

- 日 時 平成 28 年 10 月 3 日（月） 17 時 30 分開会 19 時 15 分閉会
- 場 所 中央図書館視聴覚ホール
- 出席者 委員 7 名
船崎委員長、毛利委員長職務代理、伊野委員、桂委員、瀬戸委員、
松山委員、柳田委員
事務局 8 名
養田図書館長、奥野（公財）武蔵野生涯学習振興事業団派遣副参
事、前田課長補佐、秋庭係長、川西課長補佐、森本課長補佐、小
林主任
- 傍 聴 2 名
- 内 容 1 議事
（1）前回議事録の確認について
（2）図書館の運営について
2 その他

【事務局】

1. 開会

定刻となったので開会する。
図書館長よりごあいさつ申し上げる。

【図書館長】

前回委員会で吉祥寺図書館リニューアルについて報告した。その後、定例教育委員会に提出、市議会文教委員会にも同じ内容を提出している。各段階でご議論いただき、内部でもたたき上げてきたものが最後に報告するものである。こちらに関しては現在、10月10日までの期間でパブリックコメントを実施中で、その後意見を踏まえリニューアル計画がまとまる。教育長の権限で内容を確定していく予定であるが、9月に市議会定例会で吉祥寺図書館の改修工事に対しての実施設計委託料を補正予算要求し、認められている。工事費用については今後の議会審議となるが、今年度中に設計、来年度改修工事の道筋はできている。本日も活発なご議論をお願いしたい。

2. 議事

【司会】

次第に従い、議事に入りたい。
以降の進行を委員長にお願いする。

【委員長】

議題の1番、前回議事録の確認について
事務局より説明を。

★議題1 前回議事録の確認について

【図書館長】

議題1 前回議事録の確認についてご説明する。
資料1をお願いしたい。

事前にお送りしているが、前回8月開催の委員会での議論の内容を取りまとめたのが今回の資料となる。今回の確認いただき承認いただければ、委員会終了後にHPで公開したい。

【委員長】

本件について、質疑を行う。
何かあったら意見、質問を。

(特になし)

【委員長】

それでは、この内容で協議内容として公開することとしたい。
引き続き議題の2番、図書館の運営について「図書館事業目標（平成28年度）案について」を議題とする。事務局より説明を。

★議題2 「図書館事業目標（平成28年度）案について」

【図書館長】

引き続き、議題2についてご説明する。資料2をお願いしたい。
本資料は、前回委員会でご議論いただいた内容を踏まえ、事務局にて修正等を行ったものである。再度ご確認・ご議論いただき、28年度の目標として確定、公表していきたい。
主に前回からの変更部分について説明する。

NO3 市民利用者へのサービスの相対的低下について、成果物のイメージのご意見があった。他自治体における事例研究、情報収集に努め、その研究内容について報告書にまとめ、運営委員会へ資料として提出するとの表現に改めた。

NO5 プライバシー保護について、検討の成果物を具体的に記載すべきとのご意見があり、検討内容は今年度中に策定するリニューアル計画の中で明らかにする、との記載とした。

NO6 図書館の防犯訓練について、管理責任として淡々と実施していくものとして記載しなかった経緯だが、ご意見を踏まえ重要な内容であるので記載することとした。

NO8 中央図書館を中核とした在り方の検討についての年度目標、成果物のイメージについてご意見があったので、検討内容について資料にまとめ、運営委員会に提出するとの記載を行った。また、吉祥寺図書館の在り方についての成果物のイメージについてのご意見は、検討内容についてリニューアル計画にまとめる旨記載した。また「外部性を担保」との表現は、外部性を担保するのは全ての項目にあてはまることなので、ことさらここだけ書くのはおかしいとの指摘をいただいたことを踏まえ、資料にまとめ、定期的に報告する旨の表現に改めた。

NO17 読書の動機づけ指導 50周年記念事業で、わかる範囲で記載を、のご意見について、講演会、記念誌作成の準備を進める旨記載した。

NO19 館内サインの充実の具体的イメージについて、ピクトグラムの活用について記載するとともに、吉祥寺図書館においては老朽化したものを適切に更新するようにリニューアルの設計に反映するとの表現を加えた。

主な説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら意見、質問を。

【委員】

前回のものを丁寧に修正いただいた。評価がしやすくなったが何点か確認したい。

NO9 多様な情報資料の蓄積について、2項目目「電子書籍について情報収集し関連講習等に出席した場合は」とあるが、中長期目標に入っているが年次の成果も欲しい。講演会に参加した場合の報告というのは研修の復命であり、情報収集については何か報告があるかどうか。情報収集したのであれば年次の報告はほしい。電子書籍はこれから注目されるので、何らかの形で成果がほしい。

NO11 「展示リストの公開」について、HPでの公開ということか。冊子もということであればそちらも書いておいてほしい。

【事務局】

両方である。

【委員】

そうであれば評価しやすいので、捕捉してほしい。

NO17 の加筆された部分、読書の動機づけ指導 50 周年について、講演会と記念誌作成について準備を進めるとあるが、29 年度に実施するとなると、計画書に反映がされるのではないかと思うので、準備を進めた結果のことを補足するべきと思う。

NO18 で理解しづらいので確認だが「高齢者施設への拡大」＝「シニア世代へのサービス拡大」なのか、それぞれ別の話なのか、別々であればどのように拡大するのか具体的に内容がほしい。

【事務局】

電子書籍の情報収集について、具体的には新聞での情報収集や、リーダーがいくつあるとか出版社など、そういったものを気にしながら見ている。どんなところに進展があったのかなどまとめるようにしたい。

【事務局】

読書指導について簡単な計画書については作りつつある。29 年度の事業なので起案などは 29 年度に入ってからである。準備段階として現状メモ的なものはあるが、それをまとめるということになる。

【委員】

中間報告的なものでも良い。

【事務局】

NO18 については「高齢者施設への拡大」＝「シニア世代へのサービス拡大」という考え方である。表記については調整したい。

【委員】

NO14、15、16 に関わるがNO11 課題解決テーマ展示でリストを冊子、データで出すとなったが、公開するものについて形式をそろえたほうが良い。

それらについて冊子体でも提供する旨記載したほうが良い。

NO14 は公開となっていないが、テーマとしてはリストを出していると思うので、公開をするのかというところである。

【事務局】

公開しているのでその旨記載したい。

【委員】

NO8 定期的な連携、報告について、内容を説明いただきたい。

また、「定期的」の表現が重複しているので整理が必要では。

【事務局】

標記について重複している点は整理する。

関係課との連携について、現在、月1回のペースでプレイスに関して市の主管である生涯学習スポーツ課を中心に指定管理者の生涯学習振興事業団、関係課として市民活動推進課、児童青少年課と情報共有の一環として連絡会を持っている。その情報を図書館内にフィードバックしているが、図書館事業への展開等連携の種となり得るので、今後は連携状況について、運営委員会へも報告したい。

【委員】

NO12 学校連携についてこれまでのテーマを蓄積について、おおむね意味は分かるが、具体的に教えてほしい。また、学校からの情報の取り入れについて、選書や提供に活用していくという点について、セカンドスクール、国語、総合的な学習の時間等での協力について指しており、

これまでの流れを継続することを述べているのかという点。NO17で読書動機づけ50周年について、すごいことだと思う。3年生にしているのは素晴らしいことであるが、文章について分かり易くまとめてほしい。YAサービスについて、担当者会議での情報交換の内容について教えてほしい。

【事務局】

NO12 学校での授業のテーマ、セカンドスクールもそうだが、毎年類似したテーマについて要望がある。それらをテーマごとに本のリストをまとめることで、学校への貸出について職員誰でも対応できるような情報蓄積を行っていくことを目的としたい。それを学校に出すこともある程度できるが、基本的には職員が内部的に誰でも対応できるということを考えている。

選書に関して、今年度はまだだが毎年夏休みに先生にお集まりいただき、学校連携図書の選書会議を行っている。どういう授業をされていてどういう本がほしいのかとか、図書館おすすめの本などを紹介している。今年夏休みはできなかったが今後2学期にやりたいので継続して考えていきたい。動機づけ指導の件は委員ご指摘のように訂正したい。

YAサービスは年に3回くらい担当者で集まり情報交換を行っているが、一番力を入れているのはプレイスである。中央はスペースも小さいのでプレイスのようにはできないが、それぞれの情報交換やプレイスを手本とするとか、どのようなことをやっているかを共有するなど、なかなか中高生に来館いただけないが、来ていただけるような図書館となるよう検討している。

【委員】

1点お願いが出来ればと思ったのが、図書館で使うのはもちろんだが、蓄積したものをサポーターが集まる会議で活用の状況を伝えてほしい。

【事務局】

量が膨大なので、上手く伝えられるように検討したい。

【図書館長】

学校からの情報として年1回の会議も重要であるが、毎回の学校連携の状況によりニーズ把握が出来ている。児童出版のプロダクションか

らのリサーチも入っているので、図書館が学校の意見を吸い上げ、それを出版社が応えていくようなシステムになっていること、その必要性を痛感した。

【委員長】

他にないか。

(これ以上の意見なし。)

本議題については、スケジュールの関係から今回までで議論をまとめる必要がある。議論いただいた内容を踏まえて事務局にて修正案を作成し、決定は委員長預かりとさせていただいてよろしいか。

(異議なし)

それでは、さよう決定する。

予定された議事は以上である。報告事項に移る。
事務局より説明を。

★報告事項 1 平成 27 年度図書館事業評価について

【図書館長】

報告事項 1 「平成 27 年度図書館事業評価」について説明する。

資料 3 をお願いしたい。

前回ご議論いただいた内容を踏まえ、事務局、委員長で調整し確定したのが、今回の資料となる。今後、定例教育委員会に報告の上、公表の手続きに入りたい。

前回からの単純な文言修正以外の変更部分について、説明する。

NO 2 アンケートの実施方法について、「結果が明確になるよう」という表現を「結果が正確になるよう設問・回答を簡略化した方式で」と文言修正した。

NO 8 レファレンスの入力件数について、平成 27 年度 150 件、累計約 1,500 件と追記した。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら意見、質問を。

(特になし)

【委員長】

引き続き報告事項の2に移る。

事務局より説明を。

★報告事項2 吉祥寺図書館改修事業について

【図書館長】

報告事項の2「吉祥寺図書館改修事業について」についてご説明する。

資料4をお願いしたい。

前回もご報告しているが、その後議論、肉付けし具体的な内容にしたものが、今回の「吉祥寺図書館リニューアル計画（素案）」となる。現在、10月10日まで約2週間パブリックコメントを募集しており、それらの内容もふまえて、今後、実施設計に活かしていきたい。

1頁は本市図書館の概略である。3館構想による3館それぞれの蔵書数、貸出数といった基本データ、それぞれの特徴を述べている。

2頁は吉祥寺図書館の現況である。基本課題として4つ設定し、施設の現況として各フロアの現状、課題を述べている。2階は集会室の防音対策がしっかりなされている反面、室内部の様子がわかりにくいこと、トイレの老朽化、1階は西側の大きな窓に面した開放的なスペースがありながら、新たな利用者に立ち入りにくい雰囲気になっていること、ICT化が進んでいないため、カウンターで全ての業務をしなければならないこと、事務室が狭いこと、地下は落ち着いた雰囲気になっていることなどを述べている。

3頁はリニューアル計画について(1)策定の経緯、築30年を経て、施設の老朽化への対応と長寿命化に必要な保全工事の必要性、そのような中で図書館基本計画に基づき、平成27年度に「吉祥寺図書館の在り方」が示されたことが書かれ、(2)リニューアルの概要として予約取り置きコーナーの設置、自動貸出機の増設等のICT化の推進によるサービス機能の向上とそこから生み出されたマンパワーにより、経緯で掲げた「本をきっかけとした新たなつながりづくり」に必要な人力を生み出す。また、アンケートで要望の高かった蔵書、閲覧席の充実とともに、土日祝の開館時間を平

日並みにしていくこと、また、やはり要望の高い学習スペースの設置、Wi-Fi環境も整備して利便性を向上させることについて書かれている。

基本理念は、「在り方」で述べたものを踏襲し、コンパクトさを逆に利点としていくことを考えた。リニューアルの視点として、①鬼頭梓氏の設計した、手をかけさえすれば高耐久、長寿命化に主眼がおかれた公共建築物として最適な現在のオリジナルデザインを尊重し、施設機能の更新を図る。②ヘビーユーザーにはより居心地のよい機能の提供③新たな図書館利用層の開拓として、小さな子どもと保護者、中高生等ヤングアダルト、吉祥寺に来る多くの来街者の来館を促す施設や仕掛けを行う。④ライブラリー・オートメーションとして利用者の時間の節約、個人情報保護に貢献すること。⑤利用者ニーズをふまえた適切な施設運営として、土日祝の開館時間の延長、最適な運営形態、本をきっかけとした新たな地域のつながりづくりに貢献するよう、施策を検討していくことについて記述した。

4頁、各フロアの整備方針として、2階は絵本、児童、ヤングアダルトのフロアとして絵本コーナーの更新、子どもトイレの改修、おむつ替スペース、授乳室の設置等を行う。ヤングアダルトコーナーの設置、学習室の設置により中高生がもっと来館するように促す。1階ではICTの充実による図書館の基本機能の向上と、吉祥寺の地元密着情報を提供する展示スペース、新聞・雑誌コーナーもより利便性がアップする。地下は書架のかさ上げ、新設等による蔵書機能の増強と閲覧席増加を図る。

リニューアル後の管理運営形態として、開館時間について土日祝日を午後8時までとする。管理運営形態について市や教育委員会と理念が共通しており、プレイスの運営ノウハウの活用による、市民・来館者の適切なニーズ把握及びサービスの提供、プレイスとの一体化による事業の安定的な実施、事業水準の維持、向上への期待、研修充実による人材育成、財団職員への登用制度による職員の定着・確保等の観点から、武蔵野生涯学習振興事業団への指定管理が望ましいと考えている。

開館までのスケジュールは記載のとおりであり、先日実施設計の予算が通ったため、契約準備中であり、現在パブリックコメントを募集中である。12月議会に指定管理に関する条例改正を予定している。平成29年9月から翌30年3月までリニューアル工事のため閉館し、30年4月リニューアルオープンを目指す。

5頁は、リニューアル後の各階の平面図である。完全な確定ではないが、いろいろご意見を頂き今後の設計の中で固めていく。

6 頁では昨年 7 月に方針決定した「吉祥寺図書館の在り方」が今回のリニューアル計画にどう活かされているのか、発展しているのかを示したものである。

利用者層別アプローチとして①ビジネスパーソンに対しては、約 2,700 冊収容できる予約取り置きコーナー、開館時間の延長、②子どもと保護者には、靴を脱いで上がれる絵本コーナー、子どもトイレの改修、授乳室設置、③高齢者にはイベントスペース、ボランティアスペースの提供。利用者の枠を超えて運営に関われるような仕組みを考えていく。④青少年には学習スペースの提供、⑤来街者には吉祥寺に特化した情報の提供⑥ビジネス支援ではパンフレット架等の新增設による関係機関発行のものなど各種情報の提供を行っていく。また、レフェラルサービスの展開も図っていく。

施設改修、望ましい管理・運営形態については、これまで述べてきたとおりである。

中央図書館を中核とする市立図書館の在り方については、3 館構想の維持・発展と各館の特徴ある活動がそれぞれに連携を超えて関係し合い、双方向で有機的なサービスの展開を行う。中央図書館が図書館行政の中核を担うのはもちろんのこと、各館が密接に連携し合い、それぞれの地域特性、特徴を活かしながら、通常の図書館サービス以外の児童サービス、障害者サービス、図書館を拠点とした生涯学習活動支援を行っていく。

説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら意見、質問を。

【委員】

大変結構な計画と思う。自分も吉祥寺図書館ユーザーであるが、3 館の役割として立地条件から見て中央、プレイスと違い吉祥寺は利用者の利便性が最優先である。蔵書、貸出数の記載があるが、吉祥寺は非常に数値も高い。当然中央図書館はその役割から資料が多いが利用はそこそこ、吉祥寺は非常に高い。3 館の役割がはっきり分かるので、リニューアルに併せて来やすい、図書館にちょっと寄ってみようという計画となっている。非常に期待している。半年くらいの休みならばというところもあるが、中央はちょっと遠い。吉祥寺図書館に無い資料は取り寄せができ、3 館のすみ分けもできていると思う。新しい管

理形態になってプレイスのやり方を吉祥寺に持ち込むと違うと思うが、当然分かっていると思うので、吉祥寺の特性を活かした運営形態としてほしい。いい計画だと思う。

【図書館長】

工事中は吉祥寺の蔵書については凍結となり、他の倉庫に保管する。

【委員】

要望として、3館の役割が違うので、吉祥寺は新しい小説、話題の本、文庫、新書をそろえてほしい。そういう本がなかなかないので、人が来るようになると思う。アンケートでもそのような意見もあるが人気のある本が吉祥寺に無いことが多いので、新しい本をそろえてくれると良い。予算の関係で難しいと思うが、話題の本はなるべく入れてもらおうと助かる。

【図書館長】

新しい本を入れることについては中央が早いとかの差はあまりないが、むしろ吉祥寺には書庫がないので新しいものを入れると、その分廃棄するか中央の書庫に入れるという選択となる。どちらかということ古い本がないということになりやすい。

【委員】

それは仕方ないと思う。2005年以前とかある程度古いものは無くなるが、役割としてはそれでよいのではないか。読む方もそういう立場で見えており、むしろ新しいものが読めるし、古いものは中央で読める。スペースの問題は大きいと思うが、書架はかさ上げするのか。

【図書館長】

書架のかさ上げは2段程度行う予定である。

【委員】

杉並の図書館にも行くが書架が高すぎてわからない。下に積まれるより良いが、そこまでなると使いづらい。そういうことも考慮してほしい。

【委員】

1階カウンターでレファレンスも受けると思うが、レファレンスツールは地下の一般書に混配となるか。

【事務局】

委員ご指摘のとおりである。

【委員】

1階カウンターにビジネス支援関係のデータベースや雑誌なども置くのか。吉祥寺の特色であるビジネス支援的な雑誌など、それらは増え、データベースも使いやすくなるのか。参考図書は取りに行けばよい。新聞雑誌スペースでそのようなことができれば、吉祥寺の特色は出ると思う。

【事務局】

有料データベースは窓際の ICT コーナーに移る。吉祥寺に関するもの、地元情報については展示コーナーに集まる。

【委員長】

1階の ICT コーナーと表示されている窓際のカウンター部分に PC が並ぶイメージか。

【事務局】

PC の持ち込みができる席というイメージである。フリー Wi-Fi となる。

【委員】

データベースを使うときは自分で持ち込んだ PC では出来ないと思うがそれはどこか。

【事務局】

カウンターの端部分に配置している PC となる。

【委員】

業務用でも使えて利用者がカウンターでも使える複数回線になるのか。業務でも活用できないと困るのではないか。

【事務局】

ライセンスや予算の関係もあるので、今後の課題かと思う。

【委員】

予算の関係もあると思うが、データベースでも安いものもあるので。将来的にはビジネス支援の拠点となるよう充実したものとして整備してほしい。

【委員】

データベースの確認だが、窓際の固定PC1台ということか。

【委員】

そこで複数のデータベースができると。

【事務局】

その通りである。

【委員】

持ち込みPC用の電源はとれるのか。

【事務局】

詳細は未定である。

【委員】

そこにあると窓際で見えるので、何かやっている感じがして人が来そうである。奥のコーナーはどのようになっているか。

【図書館長】

予約コーナーの脇はソファー席を想定している。ゆったり本を読めるスペースとなる。

【委員】

雑誌、新聞は階段回りに配置するのか。

【事務局】

壁と階段回りである。

【委員】

壁際の席は。

【図書館長】

吹抜け脇の席は各新聞の固定席を設けることを考えている。新聞はいくつもあるが、独占されてしまうので。新聞は6紙揃えている。その他の新聞は自由に見てもらおう。

【委員長】

2階の学習・講座室について、映画会も今後やり、通常は開放して学習室としても使うということか。それとも学習専門か。

【図書館長】

従来の機能も残す。扉もガラスとして表から見えるような形を想定している。扉を改修し中に見える形とするが、ぎりぎりの防音性についても想定する。

【委員】

どのあたりがガラス張りとなるか。

【事務局】

部屋の東側の入り口、図面で行くと部屋の右側の入り口である。Y Aコーナーとつながる部分でそちらから流れていくことも想定している。

【委員】

そうすることで出入口から見える。

【委員】

学習室の収容人数はどれくらいか。

【事務局】

まだ基本設計的な段階なので、想定としてこれくらいかと図に入れている状態であり正確な数ではないので、今後検討していく。イメージとしてはこのような形というご提示である。

【委員】

リニューアルということでは部屋の広さとしては広がるのか。

【図書館長】

若干、狭くなる。

【委員】

2階のカウンターは新設か

【委員長】

今までもフロアの中央付近にあるが、移動している。

【委員】

P6の利用者の区分けで、ボランティアスペースは学習・講座室を想定しているのか。

【図書館長】

委員ご指摘のとおりである。この部屋を使ってそのようなグループを立ち上げたり、活動にここを使ったり、ということを考えている。

【委員】

ボランティアとして自由に来館し部屋があるイメージがあるが、そういうわけではなく、日にちが決まっていてその日に使う、というイメージか。

何でもこの部屋に詰め込んでしまうと、上手く回るかどうか心配である。部屋の利用について広報をきちんとしないとせっかく来館したのに部屋が空いていないとか、利用者が不快な思いをするかもしれないので。多目的室的な使い方は難しい。

【委員】

「学習」と書いてあるので、そうとしか思わず来館することが想定され、その場合の配慮が必要と思う。

【委員長】

2階には生活関連本のほか全集があるが、それが地下に行って、

地下のY Aが2階に上がるのか。

【図書館長】

現在ある、生活関連本の別置は残す。Y Aに関しては2 Fの壁際に書架を造りそこに収納する。集会室の一部は倉庫としたいので、現状よりちょっと狭くなる。

【委員】

Y Aコーナーにある机椅子のスペースはどのような使い方か。勉強してはいけないのか。にぎわっているような感じか。

【事務局】

いわゆる閲覧席なので、図書館の本を使って調べものなどをする分には良い。

【委員】

階段が狭かった印象があるが、変わらないのか。

【図書館長】

大きさは変わらない。

【事務局】

拡幅は困難だが、多少手を入れることは想定している。のぞき防止など工夫しないといけないことも考慮しながら、すっきりさせたい。

【図書館長】

感覚的には広がると思う。

【委員】

学習講座室は今の会議室だが、真ん中の仕切りはアコーディオンか。

【事務局】

現状でもあるが、可動式の間仕切りである。ほとんど使用の実績はないがかなり頑丈なものなので、流用を考えている。

【委員】

運営委員会もできると思うので、完成した暁には開催してほしい。

【委員】

やはり1Fの展示コーナーなどが気になっているが、吉祥寺アーカイブのイメージはどのようなものを想定しているか。設置場所や展示との関係など。例えばお店の情報発信について、図書館としてお店がたくさんある中のチョイスについて、切り分けのイメージを聞きたい。公的機関なので、どこの店、などは言いづらいのでは。

【委員】

個々の店、ということではなく、まちの情報誌、雑誌、小冊子などを集めて置いておくようなイメージなのでは。

【委員】

そのようなイメージならば、図書館らしいと思う。

【図書館長】

例えば吉祥寺を案内したものを紹介したいと思っている。

【委員】

場所は雑誌新聞などのそばか。

【図書館長】

怖いところは古い情報の置き方であり、回転が速いので資料に掲載されている店が無くなるとかが考えられる

【委員】

アーカイブとして以前に何があったというのが分かるのも図書館の役目である。

【図書館長】

当然協力を得た上で紹介するのだが、単に地域お店や人の紹介とは違って、例えば店主が感動した小説の紹介等と結びつけるなど、本を切り口としたまち情報を提供すること想定している。

【委員】

そのような企画をいろいろ考えて、展示コーナーを作っていくのは面白いと思う。

【委員】

地元情報は面白いと思うし、いろいろな吉祥寺に関する切抜き情報をファイルにして置いておくだけでも面白いと思う。

【委員】

TVで吉祥寺が放送されたものを録画しておいて、エンドレスで流しているだけでも面白い。いろいろできるのではないかな。

【委員】

利用者別の⑥ビジネス支援について、図書館としてビジネス支援として本の提供ができるという体制をとっておくことが必要と思うが、雑誌が対象として多いと思う。何をもってビジネスかというところで選書のポイントとなってくると思うが、何か選書に絡める方向性を想定しているか。それらが一般書のほうに行くのか、展示のほうに行くのか、どう持っていくかが気になっている。

今でもビジネス関係の本もあると思うが、よくあるやり方としては書架案内をしていくような形で、サインも関係してくるが上手い案内をしていけばよい動線につながるの、1階に全部集めなくても良いと思っている。新しい本を購入することについては今までの選書の中で意識しておくでも良いが、書架案内の工夫として上手くやっている図書館を参考にすると良い。

【委員】

一般書の中に全部入れるとやりようが無くなってしまふところが難しい。地元情報として地下にコーナーを作り、1階とのつながりができるように動線を組んでいくと良いと思う。単純にNDC順はシンプルで分かり易いが、全部分断されてしまいビジネス関係は難しいが、地元に関連するものだけでもまとめて集めたほうが良いし、特色として出したほうが使いやすい。

【図書館長】

地下に置いても別置しても良いと思う

【委員】

地下に置いても地元のもののはまとめておいたほうが良いと思う。

【委員】

地元情報は別置き特色を出すことでユニークさはあると思う。

【図書館長】

展示コーナーは IC タグ読み取りのものを想定している。

【委員】

月ぎめのコーナーのようなものを想定しているのか。

【図書館長】

委員ご指摘のとおりである。

【委員】

ビジネスという言葉を使うかどうか、図書館として地元情報、吉祥寺情報といったような分かりやすい表現としたほうが良いのでは。実際運用することを考えると、ビジネスとすると敷居が高いので、言葉を考えてほうが良い。

【委員長】

他にないか。

(特になし。)

3. その他

【委員長】

続いて、その他は何かあるか。

【事務局】

1点ご紹介だが、今年度の武蔵野市の図書館（年次報告書）が出来上がったので配布させていただいている。昨年度の活動についてまとめたものとなる。また、HPでも今後公開する予定である。

また、次回の日程についてお諮りしたい。今回で目標についてはご議論いただいたので、事務局でまとめ、ご確認いただく。次回は来年2月中の日程で開催したい。時間はこれまでと同じく17時30分開始を予定しており、場所は以前話に出たとおり、プレイスの会場が確保できれば、そちら

で行いたいかがか。

【委員長】

日程調整及び会場の件について意見等あるか。

【司会】

次回の委員会は2月13日（月曜日）17時半から行う。

会場については別途ご連絡する。

【委員長】

それでは全体を通じて何か意見・質問等はあるか。

（特になし）

4. 閉会

【事務局】

以上で第6回図書館運営委員会を閉会する。